

平成 16 年度予算

まちのお金の使い道

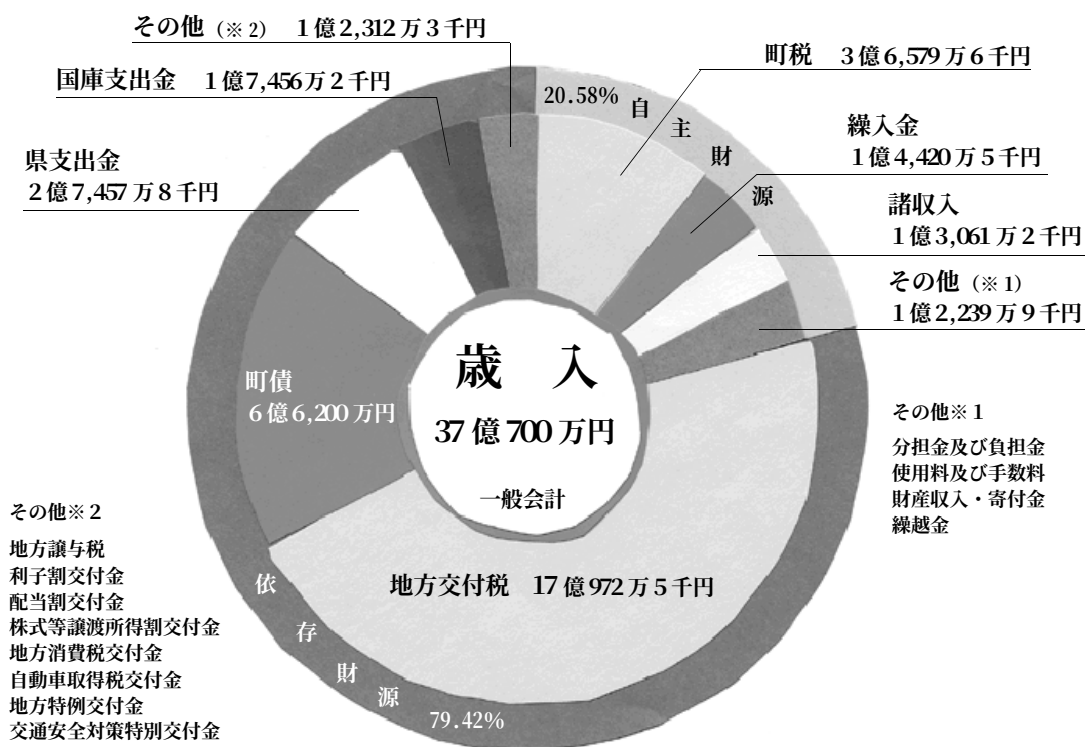
今年度の予算は **37 億 700 万円**

前年度と比べて 3 億 2,200 万円の増

まちづくりの基礎となる平成 16 年度の予算も動き始めました。

まちの財政の中心となる一般会計の当初予算は 37 億 700 万円で、前年度に比べ 3 億 2,200 万円と 9.51% の増。6 つの特別会計を加えた総予算額は 57 億 9,593 万 8 千円（伸率 0.62% 増）になりました。

今年度のまちづくりを進めるために編成された予算の内容をお知らせします。



一般会計歳入グラフ

福祉・医療・人権・環境
教育を重点に予算を編成

今年度は、自主性や自立性をさらに高め、特色・夢のある活力に満ちた地域社会の実現のため、福祉施策や生活関連の整備、中小企業への支援などを引き続き推進。少子・高齢化や過疎化、加速する情報化の中、厳しい財政状況を再認識し、福祉・医療・人権・環境・教育を重点とした「まちづくり」を推進するため予算を編成しました。

また、昨年度に引き続き江府町との合併の準備を進め、住民サービスに支障のないよう合併期日を迎えるため、合併協議を最重点課題と位置づけて、本格的に取り組んでいきます。

一般会計と特別会計
合わせて 57 億 9,593 万円

一般会計の当初予算は、地方交付税や国・県補助金の削減がありますが、合併協議関係、保育所建設、町道柿ヶ瀬線踏切改良など今までの課題であった事業を計上。総額 37 億 700 万円、昨年より 3 億 2,200 万円の増額（昨年度